

令和元年 11 月 11 日

各 位

株式会社リサーチアンドソリューション
代表取締役社長 美濃部 直樹

「GIS コミュニティフォーラム in 九州」に出展しました

株式会社リサーチアンドソリューション（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：美濃部直樹）は、2019年10月31日(木)にアクロス福岡国際会議場で開催された「GIS コミュニティフォーラム in 九州」に出展いたしました。

当社の出展ブースでは、タブレット端末と GIS を活用して施設保全業務の高度化を推進する「施設管理システム」に加え、グループ会社である株式会社中央設計技術研究所（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：中辻英二）の「アセットマネジメント支援システム」等、GIS を活用した業務支援のソリューションについて、デモンストレーションを交えてご紹介いたしました。「施設管理システム」では点検データを GIS 上で一元管理することができるため、点検作業の高度化や保全計画作成業務の省力化が見込めるといった点など、ご評価いただきました。

本出展は、多数の方々にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。ご来場いただいた皆様方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

《開催概要》

名 称：GIS コミュニティフォーラム in 九州

開催日時：2019年10月31日（木）

会 場：アクロス福岡 国際会議場 4 階

〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1

公式サイト：<https://www.esrij.com/events/gcf/gcf2019-autumn/kyusyu/>

出展内容：施設管理システム

アセットマネジメント支援システム（中央設計技術研究所共同開発）

< 出展の様子 >



< 掲載ポスター >

GISソリューション 施設管理システム

最新のICT技術を活用した
管理システムをご提案します!

施設管理には機能保持に向けた予防・予防保全を重視した業務プロセスが必要です。最新のICT技術を活用した管理システムのご提案により、新たな管理手段の導入や施設保全にも効率的なメンテナンス・保全業務の高度化を実現します。これによりユーザーの満足度向上やストックの有効活用・活性化に繋がります。

施設管理システムの事例

予防保全	STEP 3 補修対応の迅速化 運行・検査データとAIを 活用した劣化予測	個別計画
予防保全	STEP 2 保全データの一元管理 GIS地理情報システム・GPSを 活用した点検・補修・各種調査 データなどをクラウドベースで管理	補修作業
事後保全	STEP 1 リアルタイムの状況報告 タブレットによる点検日報登録の 高度化	点検作業
状況観察保全		

Information Processing GISソリューション

ICTを活用しアセットマネジメント等の新たなニーズに応えます。

1 上下水道アセットマネジメント支援システム

水道・下水道業務のさらなる効率化と高度化を目指して

●アセットマネジメント支援システム

●システム連携

●タブレットGIS

現場調査の効率化・省力化を目指して

台帳閲覧
外出先にて通信環境が無くても台帳画面が閲覧
できます。台帳だけでなく関連する写真やPDF
等のファイルも閲覧でき、効率化・省力化を支援
します。お客様窓口での説明用タッチパネルとし
ても利用できます。

現場監視や災害対応に利用できる
記録機能
現場での写真撮影、調査結果の記録機能により、
現場監視、災害対応及び施設台帳への現状の
反映に活用できます。

< 本資料に関するお問い合わせ先 >

株式会社リサーチアンドソリューション

TEL: 092-281-5729 FAX: 092-281-5744

URL: <https://www.rands-co.com>

経営管理本部 国永